

見る! 触る! 学ぶ!

金属製品編



わたしは飾り馬。
山梨県立考古博物館の片隅にいつもひっそりいるはにわです。
今回特別出演でご案内をいたします。

山梨県埋蔵文化財センターが収蔵管理する資料を活用してみませんか？

近年、山梨県埋蔵文化財センターでは収蔵庫内の膨大な資料の再整理を行い、これまでに貸出資料として土器、木製品の修復・復元を行ってきました。

今回これらに金属製品が加わります。

発掘調査で見つかる金属製品はさびて大変もろくなっており、保存処理をすることで展示等できます。実物資料の貸出はなかなか難しいので、復元品を制作し貸出資料としてご用意しました。

貸出資料1

青銅鏡(せいどうきょう)
直径15cm / 重さ588g



復元した資料

龍鏡(だりゅうきょう)
〈甲斐銚子塚古墳出土 甲府市〉

ちよこつと一言

鏡は簡単に割れてしまいます。取り扱いには十分注意をしてください。

ところで、弥生時代末は鏡が大変貴重なものだったので、1枚の鏡を割って分配することもありました。

※資料紹介のなかに再利用した製品があります。見てみてくださいね。



貸出資料2

鉄斧(てつぷ)
長さ22cm(刃の部分)

復元した資料

板状鉄斧
〈甲斐銚子塚古墳出土 甲府市〉



貸出資料3

鎌(かま)
長さ18cm(刃の部分)

復元した資料

鎌(かま)
〈東山北遺跡出土 甲府市〉

復元品は実際手にとってご覧いただけます。写真や離れてみただけでは分からない、質感や本来の姿が分かりやすくなると思います。

※パンフレットに紹介されていない他の貸出資料もあります。ホームページに順次掲載していきますので、そちらもぜひご覧ください。

すでにこれらの貸出および案内をしています



貸出キット

5つのケースに土器などをセットにして収納してあります。目的に合わせてケースを選んでいただけます。資料の出し入れが簡単です。



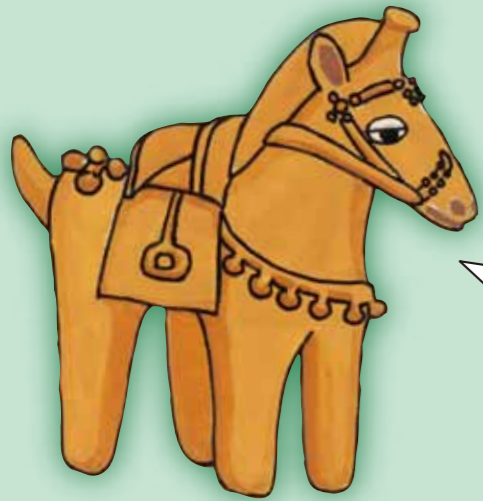
貸出案内パンフレット

貸出可能な資料の案内をのせてあります。その中から目的に合わせて資料を自由にお選びいただけます。

資料を借りてみようと思ったら！

まずはお気軽にセンターへお問い合わせください。ホームページにも詳細を載せています。問い合わせ先は最後のページをご覧ください。 ※貸出の対象は県内の学校および教育機関です。

山梨県の遺跡からみつかった 金属製品をみてみよう



土・石・木を利用して暮らしていた人々にとって金属の登場は革命的な出来事でした。これらの多くは単なる道具ではなく、儀式に使うもの、または権威の象徴とされました。紹介する資料のほとんどが古墳の中の棺に納められていたものです。ではどんなものがあるのか、使う目的ごとにみてみましょう。

儀式の道具 青銅鏡

山梨県では、古墳時代前期から中期の古墳の副葬品として、現存しているものとして19面が確認されています。これらは大和王権からの分配と考えられ、強い繋がりがあった権力者が山梨にいたことがうかがわれます。



直径22.2cm

三角縁銘帯神獸車馬鏡
(さんかくぶちめいたいしんじゅうしゃばきょう)
〈甲斐銚子塚古墳 甲府市〉



直径19.8cm

内行花文鏡
(ないこうかもんきょう)
〈甲斐銚子塚古墳 甲府市〉



この鏡と同じ型で作られたものが、岡山県、福岡県、群馬県にもあります。吉備地方とも関わりがあったようです。



直径13.8cm

盤龍鏡(ばんりゅうきょう)
〈亀甲塚古墳 笛吹市〉
虎(右)と龍(左)が向かい合った文様です。



直径8.5cm

八稜鏡(はちりょうきょう)
〈百々遺跡 南アルプス市〉



奈良・平安時代には日本人好みにつくられた鏡=和鏡が作られるようになります。山梨では8面確認されています。

戦いの道具

4世紀末になると朝鮮半島への出兵などがおこり、武力の増大が必要とされました。県内の古墳からは剣・刀・鉄鏃(てつぞく)が特に多く見つかっています。



冑(かぶと)
〈王塚古墳 中央市〉

高さ20.3cm



短甲(たんこう)
〈大丸山古墳 甲府市〉

高さ42cm

17枚の長い鉄板を皮ひもでつづりあわせています。日本で最も古い甲(よろい)のひとつです。



長さ39cm

鉾(ほこ)
〈かんかん塚古墳 甲府市〉



長さ7.5cm

鐔(つば)
〈二ツ塚1号墳 甲斐市〉

鉄刀(てつとう)
〈双葉2号墳 甲斐市〉

長さ60cm



鏃(ぞく)は矢の先の部分です。様々な形があります。古墳の副葬品として多く納められ、平安時代には住居跡からよくみつかります。

鏃(ぞく)



銅鏃
最長3.6cm
〈上:立石遺跡 下:東山北遺跡 甲府市〉



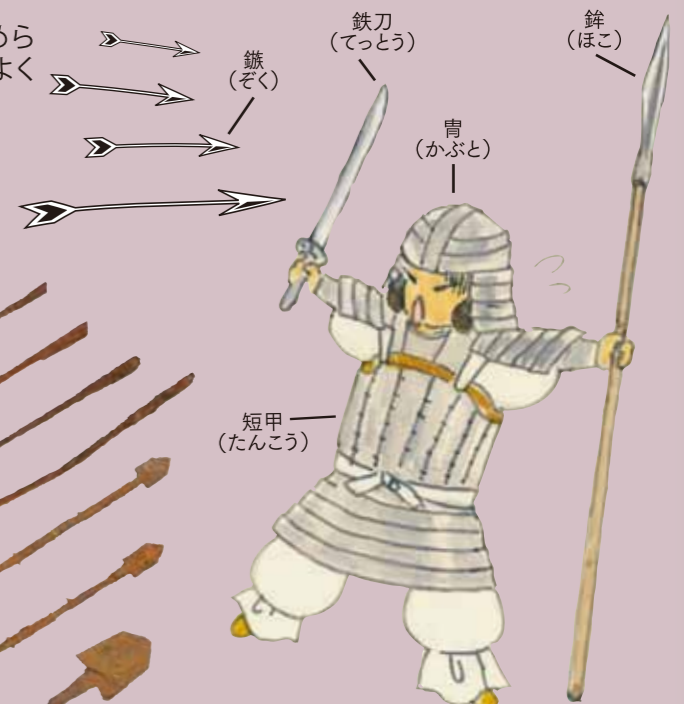
鉄鏃
最長10.5cm
〈平林2号墳 笛吹市〉
県指定文化財



鉄鏃
最長8cm
〈稲荷塚古墳 甲府市〉
県指定文化財



鉄鏃
最長21cm
〈博物館構内古墳 甲府市〉



短甲(たんこう)

鉄刀(てつとう)

鉾(ほこ)

冑(かぶと)

馬にのる・馬を飾るための道具

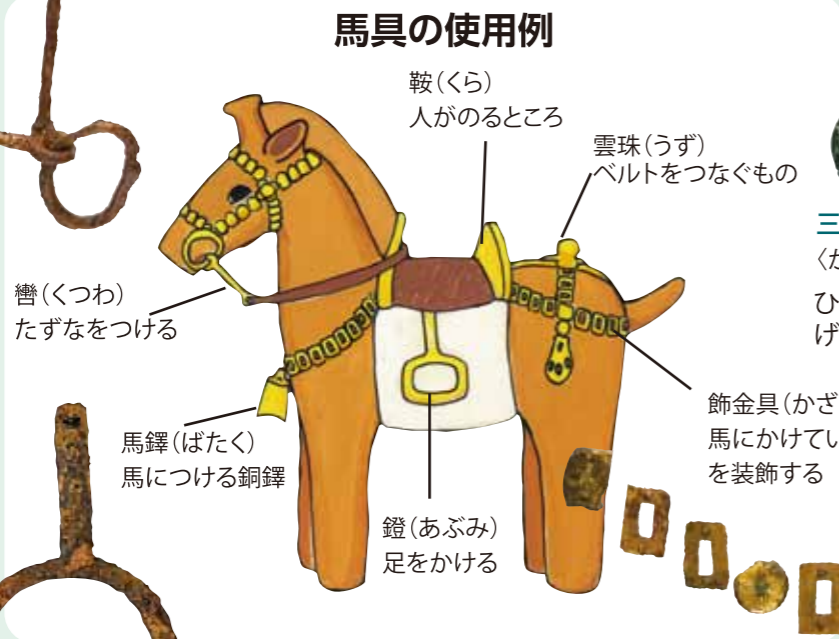
山梨には4世紀末ごろの早い時期から馬がもたらされました。県内の古墳からは大変多くの馬具が見つかっています。馬具は金銅で飾られ、7世紀後半まで副葬されました。平安時代に朝廷ご用達の馬の飼育場「牧」がおかれたり、中世は武田氏の騎馬兵の活躍など、山梨と馬は古代から深い縁があります。



横長さ16.5cm
轡(くつわ)
〈平林2号墳 笛吹市〉
県指定文化財



鐙(あぶみ)
長さ31.5cm
〈かかん塚古墳 甲府市〉



馬具の使用例

鞍(くら)
人がのるところ

雲珠(うず)
ベルトをつなぐもの

轡(くつわ)
たずなをつける

馬鐙(ばたく)
馬につける銅鐙

鐙(あぶみ)
足をかける

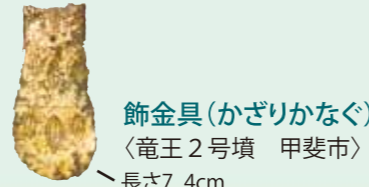
飾金具(かざりかなぐ)
馬にかけているベルトを装飾する



私たち飾り馬(=はにわ)のおかげで、どのように使われていたか分かるのです。



幅11cm
三環鈴(さんかんれい)
〈かかん塚古墳 甲府市〉
ひもに通して、どこかにつり下げていたと考えられます。



飾金具(かざりかなぐ)
〈竜王2号墳 甲斐市〉
長さ7.4cm

装飾するための道具



幅1.5cm
鏡片
〈長田口遺跡 南アルプス市〉



鏡は簡単に割れてしまいます!これは割った鏡を再利用して首飾りとして使ったものです。



直径2.9cm
金環(きんかん)
〈双葉2号墳 甲斐市〉

古墳時代の後半に多い耳飾りです。

儀式の道具2



最長17.4cm
鈴釧(すずくしろ)
〈大塚古墳 市川三郷町〉
県指定文化財
10個の鈴が付いた釧(=腕輪)



直径17cm
輪宝(りんぼう)
〈甲府城跡 甲府市〉
地鎮の時に使用された道具。

木を切る・削る・加工する道具



長さ28cm
正面 横側
短冊型



長さ12cm
正面 裏側
有袋型



全長51cm
手斧(ちょうな)
〈大丸山古墳 甲府市〉



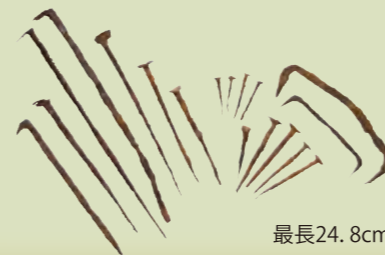
山梨県ではこの1点のみ発見され、刃先から柄まで全て鉄で作られています。全国で14例ありますが、それらと比べてもとても素晴らしい製品です。



長さ31.4cm
鋸(のこぎり)
〈寺所遺跡 北杜市〉
古墳時代に既に登場していた鋸は、中世後半から大型のものへと発展します。



長さ24cm
刀子(とうす)
〈上:大師東丹保遺跡 南アルプス市
下:寺所遺跡 北杜市〉
今の小型ナイフと同じような道具です。木簡に書いた字を直すときこれで削って消しました。古代の役人の必須アイテムです。



最長24.8cm
和釘とかすがい
〈甲府城跡 甲府市〉

畑仕事の道具



幅16cm
鋤先(すきさき)

〈左:上平出遺跡 北杜市 右:二之宮遺跡 笛吹市〉
古墳時代前期は長方形の鉄板の両端を折り曲げた形でした。写真は5世紀半過ぎから使われ始めた形です。



長さ17cm
鎌(かま)
〈上平出遺跡 北杜市〉



鏢(つば)と柄頭(つかがしら)に見事な象嵌(ぞうがん)がみられます 円頭大刀(えんとうたち) 〈稲荷塚古墳 甲府市〉 県指定文化財

お金

外国のお金



直径2.2cm

貨泉(かせん)

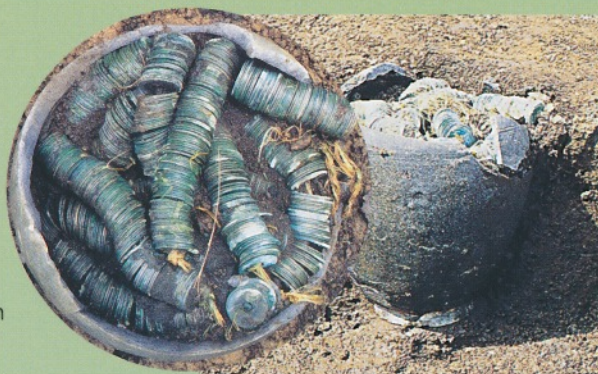


直径2.5cm

五珠銭(ごしゅせん)

貨泉は古代中国新王朝の王莽(おうもう)がつくらせたお金。
五珠銭は中国の漢時代のお金です。

〈大師東丹保遺跡 南アルプス市〉



埋納銭(まいのうせん)

〈小和田遺跡 北杜市〉

壺に入った約3,000枚の渡来銭が地中からみつかりました。
日本各地で中世後半のこうした例が報告されており、県内では12例このような資料が実際にみつかりました。



直径2.3cm

渡来銭(とらいせん)

〈大師東丹保遺跡

南アルプス市〉

中世に貿易によって大量に輸入された宋や明のお金。

日本のお金



長さ1.7cm

元禄一分金

(げんろくいちぶぎん)



長さ2.6cm

南鐐二朱銀

(なんりょうにしゅぎん)

〈全て鵜沢河岸跡〉



長さ4.9cm

天保通寶

(てんぼうつうほう)



直径2.7cm

文久永寶

(ぶんきゅうえいほう)



直径2.3cm

寛永通寶

(かんえいつうほう)



直径2.8cm

新寛永通寶

(しんかんえいつうほう)

山梨のお金



直径1.5cm

新甲州金

壹分判(いちぶばん)

〈鵜沢河岸跡〉

山梨では17世紀はじめから「甲州金」という独自の
お金が製造されました。日本で初めての貨幣制度が設
けられ、江戸時代まで甲斐国限定で用いられました。

資料の紹介はこれで終わりです。ほんの一部しか紹介でき
ませんでした。山梨県にはこのようなものがあるんだ、
もっとよく知りたいなど、歴史・文化にさらに興味をもつ
ていただければうれしいです。



お問い合わせ

山梨県埋蔵文化財センター

〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923

TEL 055-266-3016 FAX 055-266-3882 メール maizou-bnk@pref.yamanashi.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/>

写真提供 山梨県立考古博物館 北杜市教育委員会